

第5期（平成31年4月～令和2年3月）



まつもと子ども未来委員会 活動報告集



松本市

目 次

I	はじめに	1
II	第5期「まつもと子ども未来委員会」実施要項	2
III	第5期「まつもと子ども未来委員会」委員	3
IV	委員会開催状況	4
V	活動内容	
1	今年度の取組みについて	5
2	今年度の「スローガン」について	5
3	サポーターの参加	5
4	活動1の取組み	6
5	市長提言	10
6	市長提言の振り返り	13
7	活動2の取組み	14
8	第2次松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画（案）に対する考え	16
9	松本ユースネットワークによる出前講座	16
10	次期委員会に向けた活動	17
VI	その他委員の興味・関心のある事業	
1	チャオ！バンビーニ	18
2	全国自治体シンポジウム	18
VII	資料	
1	提言に使用したスライド	20
2	PRポスター・提案書	37
3	次期委員募集チラシ	39
4	未来委員会初回アンケート結果	41
5	未来委員会最終回アンケート結果	44
6	未来委員会保護者向けアンケート結果	49

I はじめに

○ 松本市子どもの権利に関する条例 前文（一部抜粋）

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に生まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

「松本市子どもの権利に関する条例」を施行してから5年が経ちました。少子化が社会的な問題となって久しい昨今、多くの自治体が少子化対策として「子育て支援」に取り組む中、本市では、条例に基づき、「子どもの権利」という視点で、子ども自身の育ちに関わる「子ども支援」にも力を入れて取り組んでいます。こうした取り組みは、他市ではまだまだ進んでいない分野でもあることから、有識者からは「ある意味チャレンジだ」とも言われています。

その取り組みの一つが、まつもと子ども未来委員会です。未来委員会では、年齢も住んでいる地域も違う子どもたち自らが、松本のまちづくりについて考え、話し合い、活動しており、交友関係を広げながら子どもの意見表明・社会参加を促進しています。それだけでなく、こうした取り組みは、子どもたちが自らの意見を表明し、それを受け止めてもらえること、相手の意見に耳を傾け、受け止められるようになることで、自己肯定感を育むことや、子ども自身の育ちにもつながると考えています。

第5期では、市の3つの事業（市役所新庁舎建設・新博物館建設・受動喫煙防止対策）について、学び・話し合い・課題を把握するなど提言に向けた取り組みを行うとともに、これまで第1期から第4期までに市へ提言した「自分たちができること」について実際に活動を実践し、子どもの権利の日市民フォーラムで、市の事業への提言及び活動の実践について途中経過を市へ報告してもらいました。

今期から、市内の大学生によるサポーターが参加したことで、提言にあたってのプロセスが素晴らしく、たいへんまとまった内容でした。ありがとうございました。

「子どもの権利」の取り組みは、なかなか他の自治体に広がらない現状があります。未来委員会のように、子どもたちが本来持っている力を発揮し、成長していく場が広がっていくこと、そうした場で活躍する子どもたちの力に大人が気付くことをとおして、「子どもの権利」に関する取り組みが、県内外に更に広がっていくことを期待しています。

松本市長 臥雲 義尚

Ⅱ 第5期「まつもと子ども未来委員会」実施要項

1 趣旨

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため、まつもと子ども未来委員会を開催するものです。

2 内容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考えます。

3 対象

4月時点で松本市内在住、在学または市内で活動をしている小学5年生から高校3年生相当（就労者、予備校生等含む）まで、おおむね30人程度を予定

4 活動期間

平成31年4月～令和2年3月

5 主な事業

(1) 子ども未来委員会の開催

委員会（16回程度）、市内見学、発表会

(2) 委員の興味・関心のある事業に参加・実施

ア 学都松本フォーラムへの参画 9月

イ 全国自治体シンポジウム（立川市） 10月

ウ チャオ！バンビーニへの参画 11月

エ その他委員会で実施を決定したもの

6 参加者募集方法

(1) 市内小中高校へ募集チラシとポスターを配付

(2) 松本市公式ホームページ、公式SNS、広報まつもと3月号に掲載

7 募集期限

3月1日（木）から3月25日（月）まで

8 その他

(1) 第1回委員会は、4月21日（日）に開催予定です。

(2) 高校生以上（19歳～20代）の若者を対象に、サポーターを募集します。

(3) 高校生の委員及びサポーターによる運営会を組織し、委員会の方向性等について協議することで、委員が更に自発的な活動が行えるよう支援します。

Ⅲ 第5期「まつもと子ども未来委員会」委員

1 総数 31名

2 内訳

学 校		男 子		女 子	
小学生 14名	5年生 8名	才教	1名	開智、清水、鎌田、芳川 島内、安曇、附属	7名
	6年生 6名	鎌田、岡田	2名	寿、芳川、鎌田、明善	4名
中学生 15名	1年生 11名	旭町、山辺、筑摩野、明善 会田、附属	6名	筑摩野、女鳥羽、梓川	5名
	2年生 2名	山辺	1名	波田	1名
	3年生 2名		0名	筑摩野、秀峰	2名
高校生 2名	1年生 2名		0名	秀峰、志学館	2名

3 名簿 (50音順、◎委員長 ○副委員長)

学 校	氏 名
小学生	安藤 芽生、○河田 美紅、窪田 梓、○小林 佑二朗、駒橋 希美、滝川 未央 田中 ひより、○西山 千晶、樋渡 真央、藤池 春妃、藤岡 夕結奈、藤崎 悠理 丸山 龍星、柳澤 彪芽
中学生	青山 飛眞、阿部 康介、○井籠 莉乃、長田 智恵理、小田 綺乃、小手川 悠人 櫻井 愛、櫻井 舞、澁谷 綸、鈴木 晴六、◎鈴木 柚葉、滝澤 智貴、西沢 知彦 根本 怜奈、○橋本 昂賢
高校生	小澤 樺音、胡桃澤 実彩

IV 委員会開催状況

回	日 時	内 容
1	4月21日(日)	・オリエンテーション
2	5月12日(日)	・正副委員長決め ・活動1(市役所新庁舎建設、新博物館建設、受動喫煙防止)の学習 ・第5期のスローガンについて
3	5月26日(日)	・赤羽教育長の講話 ・サポーター初参加 ・活動1の学習(市の担当者から説明)
4	6月16日(日)	・活動1について話し合い ・活動2について話し合い(具体的な活動)
5	7月 7日(日)	・活動1について、自分が取り組みたい事業を決定 ・活動2について、環境活動・PR活動に取り組むことに決定
6	7月21日(日)	・活動1について、各班の考えを見える化 ・活動2について学習
7	8月 5日(月)	・活動1について、各施設・現場の見学や課題の把握
8	8月25日(日)	・活動1について、前回の振り返り
9	9月 8日(日)	・活動2(環境活動・PR活動)の実践
10	10月 6日(日)	・活動2(環境活動・PR活動)の実践
11	10月20日(日)	・活動1のプレ提言
12	11月10日(日)	・活動2のプレ提言
13	11月24日(日)	・市長提言の練習
—	12月 1日(日)	・市長提言、活動報告
14	12月15日(日)	・市長提言の振り返り
15	1月19日(日)	・第2次松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画(案)への意見
16	2月 2日(日)	・松本ユース平和ネットワークによる出前講座 ・次期未来委員会募集案内チラシの作成
	3月 8日(日)	・新型コロナウイルス感染症拡大対策のため中止

V 活動内容

1 今年度の取組みについて

未来委員会は、「松本市子どもの権利に関する条例」という決まりをもとに、子どもたちが自分の意見を言ったり、まちづくりに参加したりできるようにするためにできた委員会です。

～ 今年度取り組むこと ～

活動1：松本市が今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えを市へ提言する。

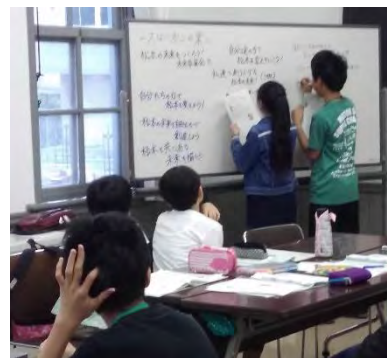
活動2：第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合っ、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で実際に活動し、市へ報告する。

2 今年度の「スローガン」について

活動内容が分かってきたところで、第5期のスローガンを決めました。

●○ 各班のスローガンを発表 ○●

- ① 松本の未来をつくろう！未来委員会で
- ② 新しい令和の時代も、ずっと愛される松本にしよう！
- ③ 松本と共にある 未来を描こう
- ④ 皆のすみやすい松本にしよう



この案のなかから、全員で多数決をしました。

その結果、一番多かった③「松本と共にある 未来を描こう」に決めました。

3 サポーターの参加

今年度（第5期）から、まつもと子ども未来委員会の活動を支援し、委員の成長を図るとともに、子どもの意見表明や参加の促進を図ることを目的として、まつもと子ども未来委員会サポーターを設置し、市内の大学生10人が、子ども未来委員会のサポーターとして参加しました。



4 活動1（松本市が今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えを市へ提言）の取組み

(1) 松本市が今取り組んでいる事業の事前学習

1つ目：市役所新庁舎建設事業、

2つ目：新博物館建設事業、

3つ目：受動喫煙防止対策事業

について、各担当職員から資料等により説明を受けました。

市役所新庁舎建設事業



新博物館建設事業



受動喫煙防止対策事業



それぞれの事業について、分からないことや自分の意見を書いて、各班で自分の考えをみんなに伝え・話し合い、各班から3つの事業について意見や分からないことについて、発表しました。

■ みんなの疑問・考え（抜粋） ■

ア 市役所新庁舎建設

- ・予算は、どれくらいか
- ・勉強スペースの設置
- ・外観を松本城にする
- ・松本城にある木と同じ木を市役所に植えて、松本城と連動して四季の移り変わりを感じる
- ・今の時代に松本城を作るとしたらどうするか想像し、市役所のデザインに活かす



イ 新博物館建設

- ・来場ポイントや抽選により、収蔵庫に入場できる
- ・昔、流行した遊びを体験できるようにしたい
- ・松本にしかない植物や虫を展示する
- ・各エリアにアルプちゃんを配置し、つぶやきや説明をしてもらう
- ・体験スペース（昔の服を着たり生活を体験する）
- ・スマホでの説明や入場券をアプリで買えるようにする

ウ 受動喫煙防止対策～

- ・歩きたばこや喫煙所以外でたばこを吸うと罰金
- ・たばこを知る機会を減らし新しく吸う人を減らす
- ・喫煙者は、大きい声で周りに宣言してから吸う
- ・目の監視マーク ・真っ黒な肺のイラスト
- ・松本市のエリア全部を禁煙にする
- ・俳句や標語で呼びかける



(2) 前回の委員会で説明された市の事業（市役所新庁舎建設、新博物館建設、受動喫煙防止対策）について、印象に残っていることなどについて、振り返りました。

●○ みんなからの意見（抜粋） ○●

ア 新市役所建設事業

- ・どんな世代の人にも使いやすくする。 ・市役所が古い建物だということに驚いた。
- ・共に時を刻む庁舎 共に生きるのは素晴らしいことだと思う。
- ・コミュニケーションが芽生える庁舎（先進的な取り組みで面白い）
- ・松本城の近くに建てることに賛成

イ 新博物館建設事業

- ・個人向けアプリ（チケットの販売等）
- ・姉妹都市の紹介
- ・また行きたくなるような博物館に。
- ・松本は自然が多いのでそれを展示する。
- ・子どもの事も考えているのが良い。



ウ 受動喫煙防止対策事業

- ・キャラクターを用いたポスターは、どんな人も見てくれる。
- ・未成年は、たばこを吸うのは禁止なのに、煙は吸ってもいいのか。
- ・喫煙率が以前よりも低いことに驚いた。
- ・タバコは吸っている人だけではなく周りの人に害を及ぼすことに驚いた。

(3) 各施設の見学と課題の把握

これまでの学習などを踏まえ、各班に分かれて施設を見学し、各事業の担当者から課題等について説明を受けました。

市役所新庁舎建設事業



受動喫煙防止対策事業



新博物館建設事業



各施設を見学した後に、自分の考えなどを自由に付箋に書き、その付箋を項目ごとに分けて1枚の模造紙に貼って、各班の考えをまとめ発表しました。

●○ 各班の考え（抜粋） ○●

ア 市役所新庁舎建設

- ・もっとスペースを広くして、利用しやすくした方が良い。
- ・通路を広くし、各課の表示を統一すると分かりやすくなる。
- ・市民が行きやすいと思える庁舎
- ・高さ制限をクリアするには、土地が足りない。
- ・建物の高さを低くして、室内は広くしなくてはいけない。



イ 新博物館建設

- ・説明文は、子ども向けのものを作った方がいい。
- ・クイズに正解すると、シールをもらえるようにすれば、小さい子どもも楽しめると思う。
- ・説明する映像に、キャラクターやクイズを入れるといいと思う。
- ・説明の映像は QR コードを使うと見る時に楽だと思う。

ウ 受動喫煙防止対策

- ・地域や商店街の皆さんの力で、綺麗になっていると初めて知った。
- ・地域の人が見えない努力って、すごいなと思いました。
- ・喫煙防止のため、心に残るキャッチフレーズを考える。
- ・喫煙者の意見も聞いてみよう。
- ・新たな喫煙者を作らないようにする社会へ
- ・松本駅の周辺は、観光客等が多いから、そこからもっと意識を高めたい。



(4) 提言に向けた検討

これまで学習したことや前回の見学で印象に残っていることや感じたこと、他の人に聞いてみたい事など各自のふりかえりを班の中で発表しました。

ア 市役所新庁舎建設

- ・安心・安全で市民に寄り添う庁舎

<課題>

- ・市民が安心できるスペースが不足している。
- ・職場環境
- ・松本らしさとは？

イ 新博物館建設

<目的>

- ・わかりやすく・楽しく・使いやすく

<検討内容>

スマホの解説や動画、展示物のランキング、外国語表記など



ウ 受動喫煙防止対策

<検討内容>

- ・灰皿の設置場所の工夫
- ・禁煙マークの工夫
- ・喫煙可能な時間帯の規定

(5) 提言のリハーサル

まつもと子ども未来委員会からの市長提言を12月1日に行うため、その練習を行いました。

ア 発表の準備

実際に、発表する順番に並び、どういう形に並んで発表するのがいいのか、みんなで考えながら、立つ位置を決め、次の人へマイクを渡しながらか移動する練習をしました

イ 発表のリハーサル

本番と同じようにスライドをプロジェクターに映して、「まつもと子ども未来委員会」の活動報告・市長提言をサポーターに向かってリハーサルを行いました。



「発表を聴いたサポーターからの感想」

- ・しっかり発表できて良かった。
- ・発表していない人も、真剣な態度でよかった。
- ・少し早口になってしまう人もいたので、ゆっくり話すようにした方がいい。

5 市長提言

(1) 市役所新庁舎建設事業

テーマ 「安心・安全 ～市民に寄り添う庁舎～」

新庁舎建設事業の基本的な考え方を学習し、実際に庁舎の中を見学しました。どんな世代の人にも使いやすくすることや、通路を広く取り各課の表示を統一すること、市民が行きやすいと思える庁舎ということを考えました。

課 題	提 言
1 市民が安心できるスペース不足	子どものためのスペース設置 市民同士、市民と職員の交流スペース
2 職場環境	資料保管スペースの確保 防犯・防災を意識した物の置き方
3 松本らしさとは	木材を利用する イメージカラーの緑を取り入れる

(2) 新博物館建設事業

テーマ 「分かりやすく」「楽しく」「使いやすく」

松本全体を屋根のない博物館として捉え、その中心となる博物館という考え方を学習し、実際の現在の博物館の展示物を見学しました。子ども向けの説明文や、小さい子どもも楽しめるものがあればいい、説明映像にクイズがあれば面白いという意見が出ました。

項 目	提 言
1 分かりやすく	説明文を見やすく スマホやタブレット等を使用した解説
2 楽しく	定期的なイベントの開催 フォトスポットの設置 スタンプ・クイズラリーの参加
3 使いやすく	歩きやすい配慮 来館者が疲れないための工夫
4 共通事項	多国語・点字表記 パンフレットの製作 博物館オリジナルキャラクターの公募

(3) 受動喫煙防止対策事業

考え方「喫煙者が減れば、受動喫煙の回数自体が減り、根本的な解決につながる。」

受動喫煙による害などについて学習し、松本駅前の受動喫煙防止対策の状況を見学しました。たばこは、周りの人に害を及ぼすことに驚いたことや地域・商店街の皆さんのおかげで、綺麗になっていると初めて知った。という意見が出ました。

項 目	提 言
1 灰皿の設置場所の工夫	人通りのある場所に灰皿があるから、喫煙者が増える。人通りの少ない場所に灰皿を設置すれば喫煙者が減る。
2 禁煙マークの工夫	足元にあるマークを目線の高さにする。デザインや色・字の大きさを工夫する。
3 喫煙可能な時間帯の規定	人がたくさん行き交う時間は吸ってはいけない等の規則をつくる。(人通りが多いところ)

(4) 活動報告

第1期から第4期までの委員会で市に提言した「自分たちが出来ること」を、委員会で実践し、取組み状況を中間報告

ア 環境活動

ゴミの分別方法やゴミ拾いの注意点について学習し、あがたの森通りの歩道のゴミ拾いを実践しました。今後はポイ捨て防止の呼びかけや、委員会の活動を伝えていきます。

イ PR(観光)活動

図書館や観光情報誌で松本の観光や歴史について学習し、松本の歴史と文化の観光PRについて子ども目線で考えました。現在松本の美しい自然を季節ごと紹介するポスターの図案を作成中です。

(5) サポーター（大学生）からの一言

子どもたちが自ら学習や話し合いを行うなど、色々なことを子どもたちから学びました。

(6) 市関係者からのコメント

ア 菅谷市長

- ・提言にあたってのプロセスが素晴らしい。大変まとまった内容だった。
- ・君たちも、まちづくりに参画できる一員・メンバーであることを改めて自覚して欲しい。
- ・市役所新庁舎について、防犯・防災を意識した物の置き方などの考え方をしているところが素晴らしい。
- ・基幹博物館の分かりやすい説明というのは、大事なことを指摘してくれた。
- ・すべての要望を聞くのは難しいが、必要最低限のお金で、子どもたちに喜んでもらえる施設を造っていきたい。
- ・受動喫煙防止について、人通りが多い時間は、たばこを吸わないように決めるという案は、とても良い案である。

イ 赤羽教育長

- ・皆さん自身が考えようと取り組んだことがすごい事であり、これからもその気持ちを大切にしてほしい。
- ・今年は、サポーターが加わったが、サポーター自身も「色々なことを学びました」という発言があり、みんなで考えていこうという表れですごいこと。サポーターに敬意を表する。
- ・市役所新庁舎建設について、大人だけが使うのではもったいないという発想や新博物館建設では、見るだけ、解説を読むだけではなく、もっと体全体で感じて楽しさを味わいたいという思い。また、受動喫煙防止対策事業について、時間帯の規定という発想は、スクールゾーンの発想と重なって、場所と時間を組み合わせてルールにしたいという思いで、それぞれ素晴らしい。
- ・中間報告としての活動報告については、環境活動は、1人でもできるということを増やして行ってほしい。PR活動は、子どもの目から見た観光地を「おすすめ松本子ども百選」みたいなものを提案してほしい。

ウ 山内教育部長

- ・新庁舎建設事業と基幹博物館の建設事業について、松本市が進めている将来世代のハード整備事業で、子ども目線による今回の提言は、非常に有意義であると考えている。
- ・新庁舎建設及び新博物館建設の提案について、工夫しながら考えていきたい。

エ 樋口健康福祉部長

- ・受動喫煙防止は政策の1つとして、一定のルールを作っていくという考えで進めており、たばこを吸ってはいけない場所として、松本駅前を受動喫煙防止区域にしました。
- ・禁煙マークの工夫は、ぜひ皆さんに分かりやすい禁煙マークを考えて欲しい。
- ・喫煙可能な時間帯の規定について、吸えない時間を設定するというのは非常に良い考えなので、今後検討したい。

オ 村山こども部長

- ・どの提言も「子どもの視点」に立ち、非常に考えるべきものが多かったと感じている。
- ・新庁舎と博物館は、いずれも「使いやすい」というキーワードがありました。いずれの施設も身近な物と捉え「自分たちが使うにはどうするのがよいのか」自分たちが使う立場になった提言で非常に感心した。
- ・こども部長という立場から未来委員会について、みんな忙しい中、活動を続け、今日の提言を見事に成功させ本当にすごい、将来が楽しみと思いました。
- ・とても大事だと思ったのは、グループで話をして1つの結論を出した経験は、必ず将来に役だつと思う。



6 市長提言の振り返り

提言の振り返りについて、各班で話し合い結果を発表しました。

(1) うまくできたこと

- ・はっきりと喋ることができた。
- ・聞いている人たちの方を見て、提言することができた。
- ・手話通訳の人を意識して、ゆっくり話すことができた。
- ・ステージ上で移動がスムーズに出来て良かった。

(2) うまくできなかったこと

- ・発表の時、少し緊張して、話すスピードが速くなってしまった。
- ・小さい声になってしまった。

(3) 提言に対する市のコメントを聞いて

- ・活動の内容を褒めてもらえて嬉しかった。
- ・誰もが使いやすい博物館が考えられている。
- ・コメントの内容が具体的で良かった。

(4) この活動を通じて、今後どう活かしていくか

- ・他の課題についても考えていきたい。
- ・この未来委員会の活動を広げていきたい。
- ・学校で、子どもの権利について伝えていきたい。
- ・活動する際、意見を出すだけでなくまとめる役割をしたい。



7 活動2（第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合っ、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で実際に活動し、市へ報告）の取組み

(1) 具体的な活動の検討

自分がどのような活動をしたいのか考え、みんなで話し合いました。

●○ みんなからの意見（抜粋） ○●

【チラシを作って配る】

- ・自分で作って配って呼びかけたい。
- ・コミュニケーションの勉強にもなる。
- ・チラシを作ることで自分でも悪いところを改善したい。

【PR活動】

- ・自分たちが松本についてよく考えられるから。
- ・松本の自然を最大限生かしてPRしたいから。
- ・自分も松本のことをさらに知ることができるから。

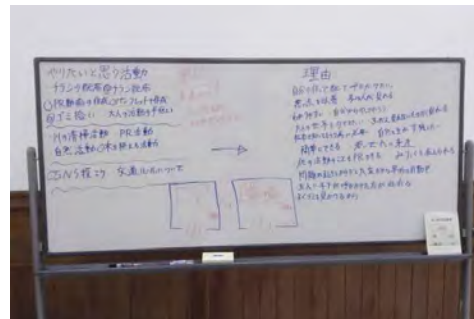
【ゴミ拾い、川の清掃活動】

- ・ゴミ拾いをしている人が少ないと思うから。
- ・活動を通して普段見られないものを見られるから。
- ・綺麗なところにゴミを捨てようとは思わないから。



(2) 活動内容の決定

PR活動と環境活動の2つについて取り組むこととし、自分がどの活動をしていくのか決めました。



(3) 活動内容の検討

環境活動とPR活動の2つの班に分かれて、今後どのように活動していくか皆で話し合い、次回行うことを決めました。



(4) 活動の実践①

ア 環境活動班

ごみの分別の方法やごみ拾いのルールについて確認し、活動する範囲は、あがたの森文化会館から松本駅方面へ向かう通りの歩道にしました。

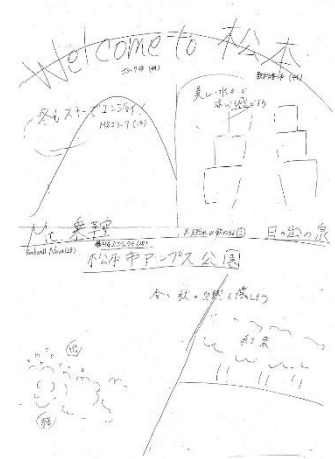
ゴミは買い物袋3袋分ほど集まり、タバコの吸い殻など小さなゴミや、壊れたビニール傘、ペットボトル・瓶などがありました。



イ PR活動班

松本市の美しい自然などをPRするため、松本の美しい自然を、春・夏・秋・冬に分けて、内容は、桜・湧水・紅葉・雪の魅力について、紹介することにしました。

その後、ポスターに載せる写真のイメージや紹介するコメントについて、話し会いました。



(5) 活動の実践②

ア 環境活動班

前回と同様のコースで活動し、自動車のタイヤのホイールキャップが落ちていたり、前回よりタバコの吸い殻が多くありました。

1時間ほどゴミ拾い活動を行い、ゴミの分別を行いました。



イ PR活動班

・PR班①

ポスターの図案に、どういう写真を載せるのが一番いいのか考えました。



・PR班②

市の観光パンフレットについて、子どもの視点で観光案内の紹介文や掲載する写真を考え、もっと松本に来たくなるような提案ができないか考えました。

◆主な意見

- ・松本城の外観だけではなく、お城から眺める写真を載せたらどうか。
- ・縄手通りの子どもが見て行きたいと思うような店の紹介
- ・ロコミ（旅行者の声）やロケ地の紹介

(6) 活動報告の発表練習

みんなで報告内容を話し合い模造紙にまとめ、それぞれ発表の練習をしました。



環境活動班



P R活動班



8 第2次松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画（案）に対する考え

推進計画（案）について、こども育成課から子どもたちに概要を説明し、計画案に対する考えについて話し合いました。

◆ 子どもたちからの主な意見 ◆

- ・子どもには全体的に分かりにくい。
- ・ポケットティッシュを配るより、繰り返し使えるファイルや下敷きの方が良い。
- ・こころの鈴の相談件数が多いので、相談できるスペースがあることが大切
- ・学校の授業でもっと「いじめ」をなくすために効果のあるものになると良いと思う。
- ・こころの鈴へ電話をかけても良いのか迷ってしまい掛けられないことがある。
- ・未来委員会は、提言できる機会があるのが良い。

9 松本ユース平和ネットワークによる出前講座

～テーマ「平和のために一人ひとりができること」～

松本ユース平和ネットワークとは、平和を創る活動を若い世代（高校生・大学生）が担い、小中学生等に、平和について考えるきっかけとなるような発信を行うことを活動理念としています。

講座は、太平洋戦争当時と現在の人々の暮らしの違いを通して平和を考えるため、戦時中の食事や服装、学校での授業内容について、説明を受けました。

次に、世界平和について考えるため、世界の貧困の国の状況や紛争や戦争について説明を受けました。





◆ 子どもたちの主な感想 ◆

- ・今、自分たちが当たり前のように送っている生活は、平和だからできること。
- ・当時の学校では、自分が学びたいことが学べなかった。
- ・食べ物を食べられるのが、当たり前になっている。
- ・平和な未来のために、人々ができることは。
- ・みんなにとっての平和とは。

10 次期委員会に向けた活動

来年度のまつもと子ども未来委員会の募集案内チラシの作成

小学生と中学生以上のグループに分かれて、どのような内容をチラシに載せ、みんなにチラシを見てもらうにはどうすればいいか考えました。

☆小学生グループ

- ・内 容
活動期間・対象学年・開催回数
第5期の活動・委員の感想・サポーター
委員会のマーク・QRコード
- ・方 法
すべて手書きで、内容は簡条書きにする。
手書きのイラストを載せる。



☆中学生以上グループ

- ・内 容
活動期間・対象学年・開催回数
第5期の活動・委員の感想・写真の掲載
委員会のマーク・QRコード
- ・方 法
内容は、分かりやすい文書とする。
委員会の様子がわかる写真を掲載する。
委員の感想は、手書きとする。



みんなが、それぞれの役割を決め、協力し合い、来年度の募集チラシが完成しました。

VII その他委員の興味・関心のある事業

1 チャオ！バンビーニ

(1) 趣 旨

まつもと市民芸術館主催の子ども向けイベント「チャオ！バンビーニ」で、劇団「短距離弾道ミサイル」の演劇「キャプテンバルボア海の大冒険」に出演し、元気いっぱいからだを動かす楽しさと大切さ、そして、海のない松本に海のすばらしさと命の尊さを、子どもにも分かりやすく、伝えました。

(2) 日 時 令和元年11月23日（土・祝）

(3) 参加者 小学生1名、中学生2名



2 全国自治体シンポジウム

(1) 日 時 令和2年1月26日（日）

(2) 会 場 女性総合センター・アイム（東京都立川市）

(3) 内 容 分科会「子ども参加」での事例発表

(4) 参加者 中学生2名、高校生1名

(5) 分科会での発言

- ・委員会で、市の取組みについて、自分で考えることが楽しい。
- ・委員会では、学校や年齢が違って普段会うことができない人に会えるところが良い。
- ・市長提言など、委員でなければ参加できない活動があるのが良い。
- ・「なんとなくおもしろそう」という興味本位で委員会に参加したけど、自分で考えるうちにまちづくりに興味がわいてきた。
- ・委員一人ひとりの考え方が違うことが分かったし、面白い。
- ・委員会に参加できるのは、高校生までだけれど、大学生になった後にも未来委員会と同じような仕組みがあると良い。

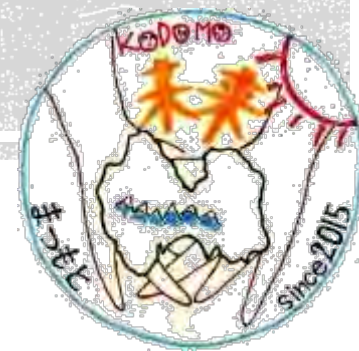


VIII 資料

1 提言に利用したスライド

令和元年12月1日

「まつもと子ども未来委員会」 の活動報告・市長提言



(第5期) まつもと子ども未来委員会

まつもと子ども未来委員会とは…

目的は？

- 「松本市子どもの権利に関する条例」による、子どもにやさしいまちづくりを進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため開催しています。

誰が？

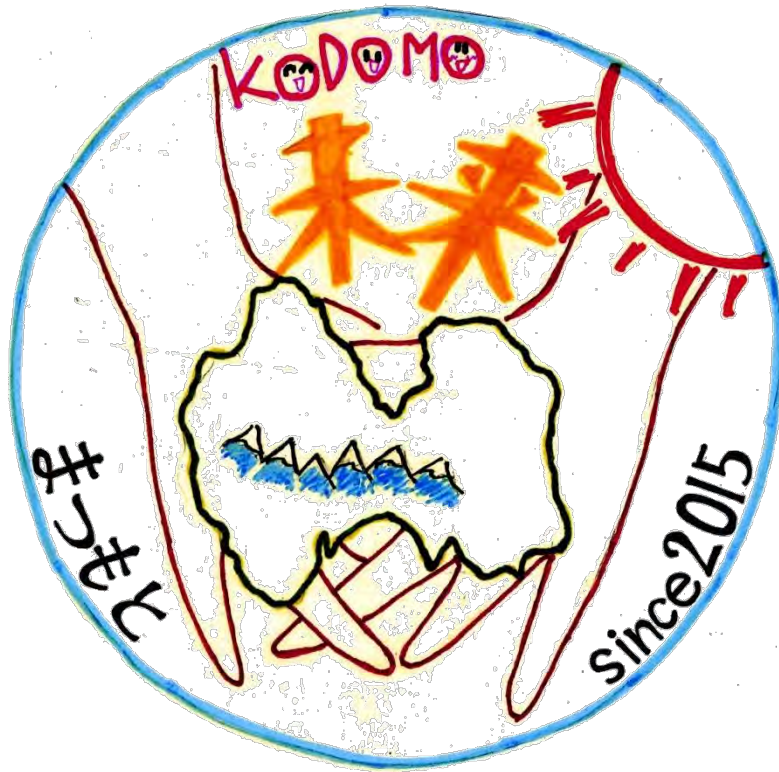
- 市内在住・在学・活動している11歳（小学5年生）から18歳（高校3年生相当）までの子どもで、学校からの推薦ではなく自分で応募し、学校、地域、年代を越えて、活動しています。

何をして
いるの？

- 松本市の取組みや地域の課題について学び、話し合い、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを自分たちで考えます。



未来委員会のマークについて



松本と松本の自然を大切にしたい(手の中に松本、山と太陽)
笑顔でいっぱいになりたい(KODOMOの👤が笑顔)



未来委員会7か条

- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にする
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

第4期の未来委員会が
自分たちで考えました。



第5期の未来委員会

- 活動期間

平成31年4月～令和2年3月（1年間）

これまでに13回委員会を開催

- 委員

31人（小学生14人、中学生15人、高校生2人）

このうち、13人が、第4期から委員会を継続



**第5期の未来委員会の
のスローガン**

「松本と共にある 未来を描こう」



市民サポーター初参加！

- 今年度（第5期）から、大学生（10名）によるサポーターが未来委員会を応援してくれています。



第5期の活動について

1 「市への提言」

松本市が今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えを市へ提言します。

2 「提言の実践報告」

第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合って、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で実際に活動し、市へ報告します。

※ 今回は、実践の中間報告を行います。



1 「市への提言」について



提言に向けた活動

松本市が、今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えをまとめる。

市役所
新庁舎
建設事業

新博物館
建設事業

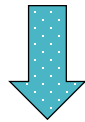
受動喫煙
防止
対策事業



進め方

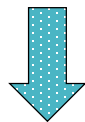
1 学習・話し合い

市の事業について
担当者の人から話を聴く
自分たちの意見を話し合い



2 現場見学

現場を見学して
感じたことなどについて話し合い



3 提言のまとめ

自分たちの視点で
これまで話し合ったり
感じたことについて
提言としてまとめ



市への提言 1

市役所新庁舎建設について
安心・安全 ～市民に寄り添う庁舎～



市役所新庁舎建設事業

「基本的な考え方」

- 1 分かりやすさ、使いやすさを実感できる庁舎
- 2 松本城と共に時を刻む庁舎
- 3 コミュニケーションが芽生える庁舎

「松本市らしい」庁舎を一緒に考えてみませんか！

政策課



みんなの意見等

- どんな世代の人にも使いやすくする。
- 市役所が古い建物だということに驚いた。
- 共に時を刻む庁舎 共に生きるのは素晴らしいことだと思う。
- コミュニケーションが芽生える庁舎
(先進的な取り組みで面白い)



提言にあたり

学習・話し合い

- どんな世代の人にも使いやすくする。
- 市役所が古い建物だということに驚いた。
- 松本城の近くに建てることに賛成

現場を見て

- もっとスペースを広くして、利用しやすくした方が良い。
- 通路を広くとり、各課の表示を統一すると分かりやすくなる。
- 市民が行きやすいと思える庁舎



課題・考えたこと



1. 市民が安心できるスペース不足
2. 職場環境
3. 松本らしさとは？



提 言

1. 子供のためのスペース設置
市民同士,市民と職員の交流スペース
2. 資料保管スペースの確保
防犯・防災を意識した物の置き方
3. 木材を利用する
イメージカラーの緑を取り入れる

市への提言 2



新博物館建設事業

分かりやすく

楽しく

使いやすく



新博物館建設事業



「どんな博物館？」

松本全体を屋根のない
博物館として捉え、
その中心となる博物館

市立博物館

みんなの意見等

- 個人向けアプリ（チケットの販売等）
- また行きたくなるような博物館
- 松本は自然が多いのでそれを展示する。
- 子どもの事も考えているのが良い。



提言にあたり

学習・話し合い

- ・ 個人向けアプリ（チケットの販売等）
- ・ また行きたくなるような博物館
- ・ 子どもの事も考えているのが良い。

現場を見て

- ・ 説明文は、子ども向けのものを作った方がいい。
- ・ クイズに正解すると、シールをもらえれば、小さい子どもも楽しめる。
- ・ 説明する映像に、キャラクターやクイズを入れるといい。



課題・考えたこと



分かりやすく

・説明文を見やすく

・スマホやタブレット
等を使用した解説

楽しく

・定期的なイベントの
開催

・フォトスポットの設置
・スタンプ・クイズラリーの参加

使いやすく

・歩きやすい配慮

・来館者が疲れない
ための工夫

提 言

分かりやすく



- ・文字を大きくする
- ・音声や動画での解説
をする

楽しく



- ・ツアーや体験を企画
開催する
- ・VR・ARを利用する

使いやすく



- ・少し柔らかいじゅうたんをしく
- ・スロープやエスカレーター等の設置
- ・売店や休けい所等の設置

共通して

多国語点字表記をする

パンフレットの製作 ・博物館オリジナルキャラクターの公募



市への提言 3



受動喫煙防止



受動喫煙防止対策事業

「受動喫煙のないまちを目指して」

市・市民(観光客なども含む)・
事業者で協力し合い、未来を担う
子どもたちに受動喫煙のない社会
を残す。



健康づくり課

みんなの意見等

- 未成年は、たばこを吸うのは禁止なのに、たばこの煙を吸わされてしまう。
- 喫煙率が以前よりも低いことに驚いた。
- タバコは吸っている人だけではなく周りの人に害を及ぼすことに驚いた。



提言にあたり

学習・話し合い

- ・未成年は、たばこを吸うのは禁止なのに、たばこの煙を吸わされてしまう。
- ・喫煙率が以前よりも低いことに驚いた。
- ・タバコは吸っている人だけではなく、周りの人に害を及ぼすことに驚いた。

現場を見て

- ・地域や商店街の皆さんの力で、綺麗になっていると初めて知った。
- ・喫煙防止のため、心に残るキャッチフレーズを考える。
- ・新たな喫煙者を作らないようにする社会へ



課題・考えたこと



考 方

喫煙者が減れば、受動喫煙の回数自体も減り、根本的な解決につながる。



提 言

灰皿の設置場所の工夫

人通りのある場所に灰皿があるから喫煙者が増える。人通りの少ない場所に灰皿を設置すれば喫煙者が減ると考えた。

禁煙マークの工夫

足元にあるマークを目線の高さにする。デザインや色、字の大きさも工夫する。

喫煙可能な時間帯の規定

人がたくさん行きかう時間は吸ってはいけない等の規則をつくる(人通りが多いところ)

2 「提言の実践報告」について

第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合っ
て、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員
会で実際に活動し、市へ報告する取組み。

※ 今回は、実践の中間報告を行います。



実際に行う活動について

みんなの意見

【チラシを作って配る】

- ・自分で作って配って呼びかけたい。

【PR活動】

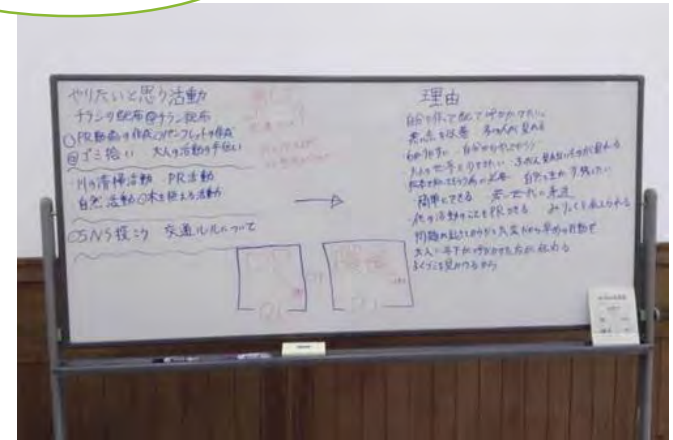
- ・自分たちが松本についてよく考えられるから。

【ゴミ拾い、川の清掃活動】

- ・活動を通して普段見られないものを見られるから。



「環境活動」と「PR（観光）活動」を行う。



環境活動

1 学習

ゴミの分別方法やゴミ拾いの注意点について学習

2 実施範囲

あがたの森文化会館～八十二銀行深志支店までの
あがたの森通りの歩道

3 実施内容

歩道の植栽の中に、タバコの吸い殻や
プラスチック製のカップなどがあり、
見えにくい所まで、丁寧にゴミ拾いを
行いました。



報告まとめ

目的

- 松本の自然を守りたい。
- 活動をすることで、ゴミを捨てる人が減るのでは？
- 環境について知るには、やってみるべきだと思った。
- ゴミを減らしたい。

活動をした感想

- 予想よりゴミが多かった。
- 植込みの下にゴミが多かった。
- 外で活動するのが楽しかった。

今後について

- 色々なところで、分別を意識したい。
- ポイ捨て防止の呼びかけ。
- この活動を広く伝える。



PR（観光）活動

1 学習

- 図書館などで、松本の観光や歴史について学習
- 観光情報誌などで、松本の観光地について調べた。

2 話し合い

- 松本の魅力について、何をどのようにPRするか。
- 松本の歴史、文化の観光PRについて、子どもの目線で考える。

3 活動内容

- 松本の美しい自然を春・夏・秋・冬に分けて紹介するポスターの図案を作成中
- 子どもに分かりやすい観光情報のPR方法を検討



報告まとめ

目的

- 松本の良い所を知ってもらいたい。
- 自分が知らない魅力を知ることができる。
- 市の観光PRに興味があった。

活動をした感想

- 松本の魅力を知ることができた。
- 知らなかった見所を知ることができた。
- ポスターのデザインを考えることができた。

今後について

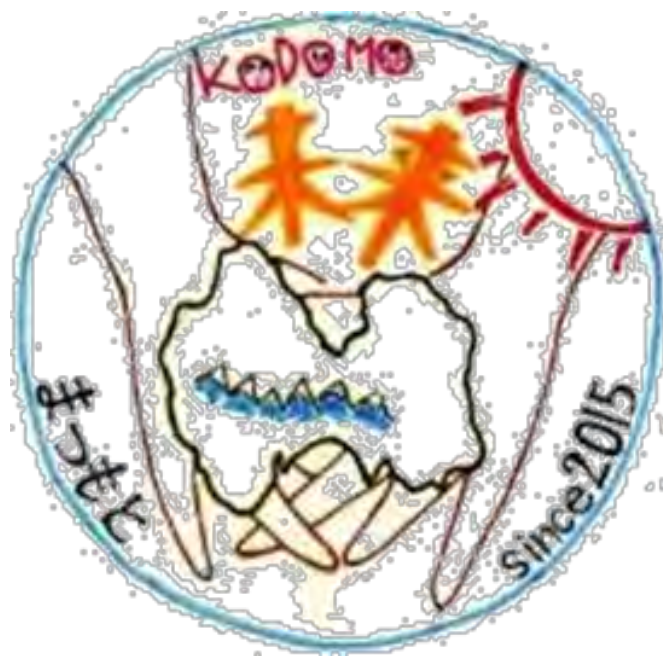
- 松本の魅力をもっと伝えたい。
- 今回の活動を他の事でも活用したい。
- 子ども向けのPR内容を考えたい。



サポーターから 一言



ご清聴ありがとうございました。



Welcome to 松本

アルプス公園
の木苺

美しい水で
すずしさを感じよう!!



ウィンタースポーツで
エンジョイ!!

松本の
四季

日の出の泉



M+乗鞍

松本城



作成：第5期まつもと子ども未来委員会

「まつもと子ども未来委員松本会」は、松本市子どもの権利に関する条例に基づき、市内の小学5年生から高校3年生の子どもたち自らが、のより良いまちづくりについて考えている委員会です。第5期（H31.4～R2.3）では、子どもたち自らが松本市の魅力について考え、広くPRするために作成したものです。
（事務局：松本市こども育成課Tel：0263-34-3291）

第5期まつもと子ども未来委員からの提案



1. 『秋冬旅』 松本市・松本観光コンベンション協会

3.4P 「松本の歴史をめぐり」

4P 「松本城VRツアーを体験しよう！」

「江戸時代の松本城の姿」とあるのに、実際に見てみると、VR化されているのは天守のみで、現存天守であり、当時の姿のまま残っている天守をVR化してもあまり意味が無い様に思います。VR化するならば、本丸御殿等、現在は残っていない建造物や、武家屋敷等の当時の城下町も再現した方が良いのではないのでしょうか。

天守のみでは、利用者の期待を裏切りかねません。

天守だけでなく、御殿、城下町もあってこそ「江戸時代の松本城」なのではないのでしょうか。

2. 『信州松本エリア Wide ガイドブック』 P15の「松本特産品『松本みそらサンド』」についての部分のことですが、

他の特産品は実物の写真が載っているのに「みそらサンド」の紹介は作業者のロゴしか載っていないから、実物の写真を載せた方がいいと思います。そのページ、他は実物の写真があるのにそれだけロゴしかないってどうなんですか…。インターネットでも載っているのに……。

3. 松本城のホームページの文章が長い

から図表などを使って、もっと簡略化した方がいい。



第6期 まつもと子ども未来委員会 委員募集!!



未来委員会とは

- ・第6期の活動期間は2020年4月～2021年3月まで
- ・対象は小学5年生～高校3年生の方
- ・大学生のサポーターが来て支えてくれます
- ・月に1～2回委員会を行います
- ・活動内容は自分たちで決めます



未来委員会の
ホームページへ

第5期に行なった活動

- ・市長提言…3つの事業について私達の意見を発表し、1つの意見がとりいれられました。
- ・ゴミ拾い ・ポスター作成 ・市内見学
- ・チャオバンビーニ ・全国自治体シンポジウム



このチラシは、未来委員会の活動の周知と新規委員を募集するために小学生委員が自分達でつくったものです。



第6期まつもと子ども未来委員会

委員募集！

未来委員会は、松本市が抱えている課題やその解決策の話し合いなどをしており、11月に開催される「子どもの権利の日」市民フォーラムにおいてその結果を発表しています。

第6期の活動期間は2020年4月から2021年3月までです。松本市内の小・中・高校に通っている小学校5年生から高校3年生までを対象としており、月に1・2回程集まり、話し合いをしていく中で交友関係も深まり自分も成長できます。

第5期では、環境や松本市のPR、市長への提言（市役所新庁舎建設事業、新博物館建設事業、受動喫煙防止対策事業）について、市役所の方々と話し合いや現場の見学を行い、市民の皆さんの前で、市長に提言をしました。

他校の友達と話し合い、
いろんな意見が出て
楽しい！



松本市の問題について話し
合ったら、実際に行動した。
普段考えないようなことも考えること
ができて、良い機会になりました。

今まで知らなかった
新しい発見が
できたよ！



松本の歴史に通じる
色々なものが見れて楽しかったし、
とても勉強になりました！！

とても緊張した
けれど、なかなか
できない、良い
経験ができたよ！



市長の意見が聞ける
貴重な体験

★保護者の方へ★

委員会に所属した場合、送迎などの協力が必要になる場合がございます。活動にご協力お願い致します。

一緒に楽しく活動しましょう！！！！



未来委員会の
ホームページへ

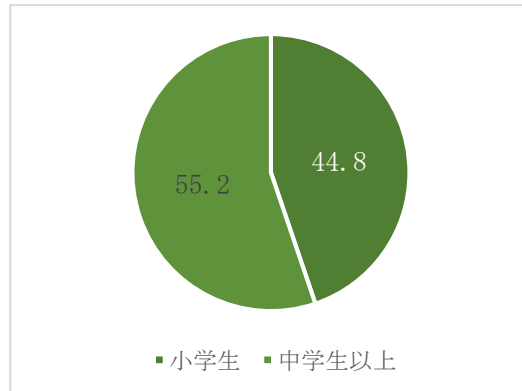
ご応募お待ちしております。

このチラシは、未来委員会の活動の周知と新規委員を募集するために中高生委員が自ら作成したものです。

4 未来委員会初回アンケート結果

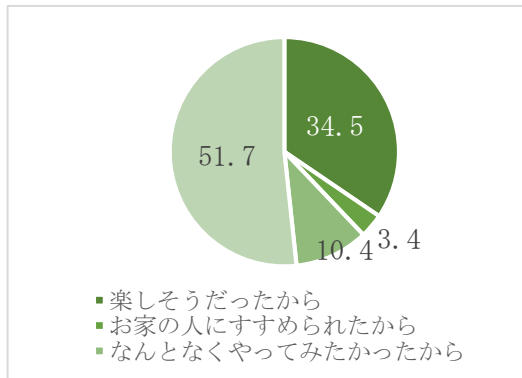
属性

	人数	割合(%)
小学生	13	44.8
中学生以上	16	55.2
合計	29	100.0



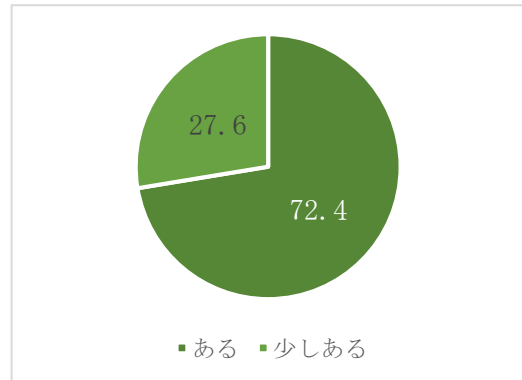
委員会への参加きっかけ

	人数	割合(%)
楽しそうだったから	10	34.5
お家の人にすすめられたから	1	3.4
なんとなくやってみたかったから	3	10.4
その他	15	51.7
合計	29	100.0



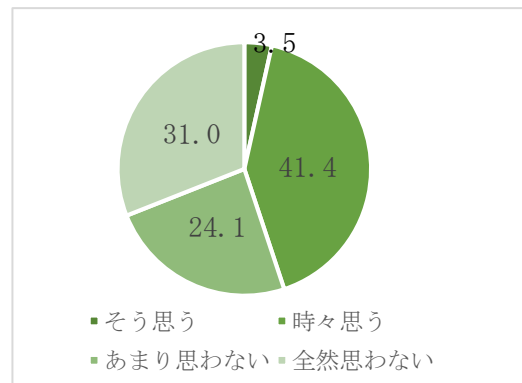
松本市への興味・関心

	人数	割合(%)
ある	21	72.4
少しある	8	27.6
合計	29	100.0



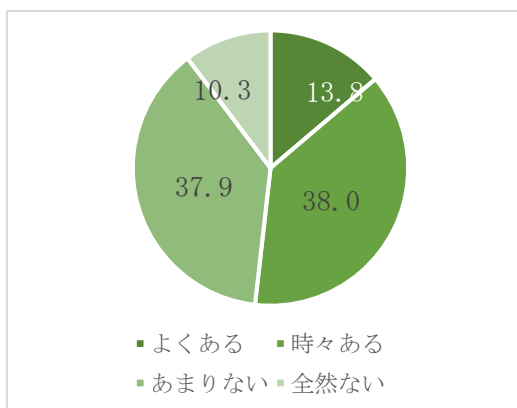
人前で発言することを恥ずかしいと思うか

	人数	割合(%)
そう思う	1	3.5
時々思う	12	41.4
あまり思わない	7	24.1
全然思わない	9	31.0
合計	29	100.0



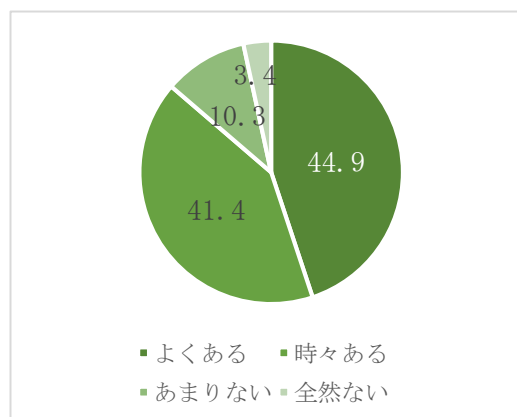
自分の言いたいことが言えないことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	4	13.8
時々ある	11	38.0
あまりない	11	37.9
全然ない	3	10.3
合 計	29	100.0



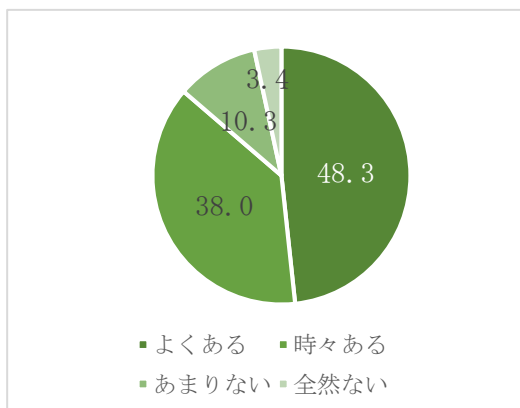
家庭で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	13	44.9
時々ある	12	41.4
あまりない	3	10.3
全然ない	1	3.4
合 計	29	100.0



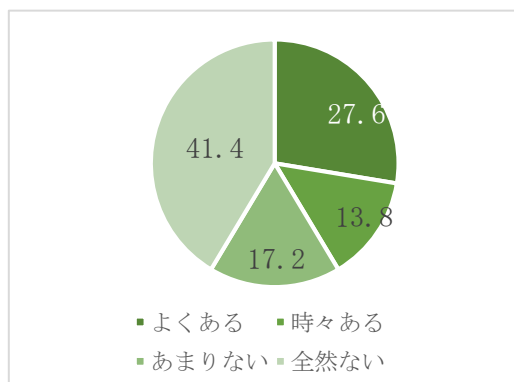
学校で自分の意見を言うことがあるかどうか

	人数	割合(%)
よくある	14	48.3
時々ある	11	38.0
あまりない	3	10.3
全然ない	1	3.4
合 計	29	100.0



地区で自分の意見を言うことがあるかどうか

	人数	割合(%)
よくある	8	27.6
時々ある	4	13.8
あまりない	5	17.2
全然ない	12	41.4
合 計	29	100.0



初回の委員会について

	人数	割合(%)
楽しかった	26	89.7
まあまあ楽しかった	3	10.3
合 計	29	100.0



【自由記述（抜粋）】

一人ひとりの意見を否定せず、受け入れてくれるから不安なくてできて楽しかった。

全く知らない人と話せたこと

オークションゲームが想像以上に盛り上がった。いろいろな意見が出て面白かった。

一人ひとりが意見を言えるところやみんな優しくて面白いところ

同じような考えや価値観を持った人や人によって考え方が違うことを実感できたこと。

意見が学校よりよく言えた。

自分の意見をしっかり言えるところ。ゲームなどで学べるところ。

みんなと意見を共通できたところ

松本のことについて話し合ったこと

初回の感想（一部抜粋）

自分の住んでいる松本市のことをふりかえられてよかったです。子どもがやればきっと大人もやってくれる！それを信じてがんばっていきたいと思います。

みんなと話し合っ、自分の意見が言えてすっきりした。

第5期初めての未来委員会だったけど、しっかりと自分の意見が言えてよかった。

今日は第1回の委員会ということで、みんな緊張していたと思います。2回目の委員会では、みんなであって、楽しみながら活動していきたいです。

初めてやってみただけれど、市に提言をしたりすることやそれに関わることはあまり考えたことがなかったから、とてもこれからの活動が楽しみになった。芳川小だった人たちの先輩と友達になれたこと！！

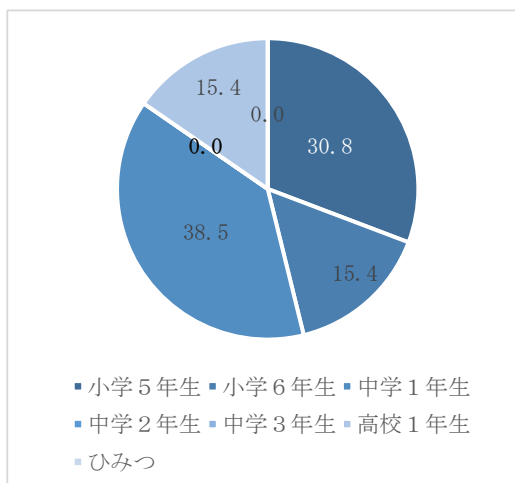
みんなの前では意見が言えなかったけど、班で意見が言えて良かったです。とっても面白かったです。知り合いがいてびっくりした。これからもしっかりと自分の意見を持っていきたいです。

松本のことについて話し合っ、みんな様々な思いや考えがあって面白かった。子どもの権利について、さらにもう一度知ることができた。権利オークションで、みんなの考えがいろいろあったし、理由もそれぞれ全然違って、やりがいがあった。

5 未来委員会最終回アンケート結果

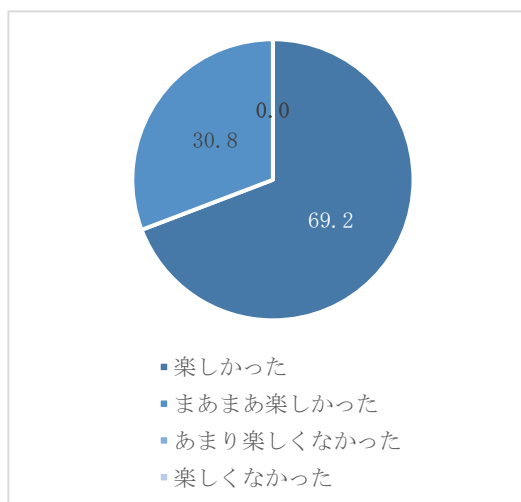
属性

	人数	割合(%)
小学5年生	4	30.8
小学6年生	2	15.4
中学1年生	5	38.5
中学2年生	0	0.0
中学3年生	0	0.0
高校1年生	2	15.4
ひみつ	0	0.0
合 計	13	100.1



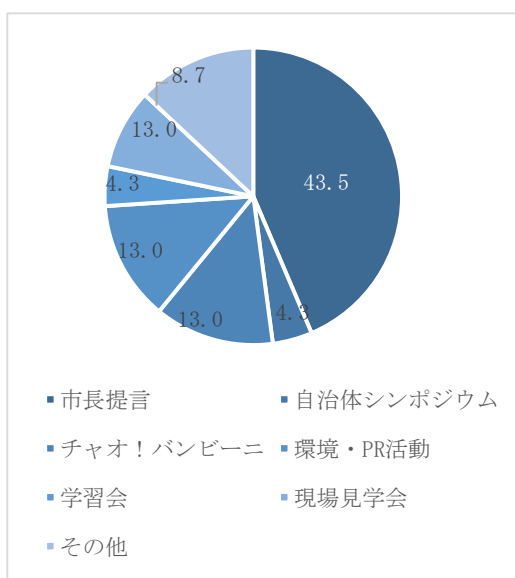
委員会の感想

	人数	割合(%)
楽しかった	9	69.2
まあまあ楽しかった	4	30.8
あまり楽しくなかった	0	0.0
楽しくなかった	0	0.0
合 計	13	100.0



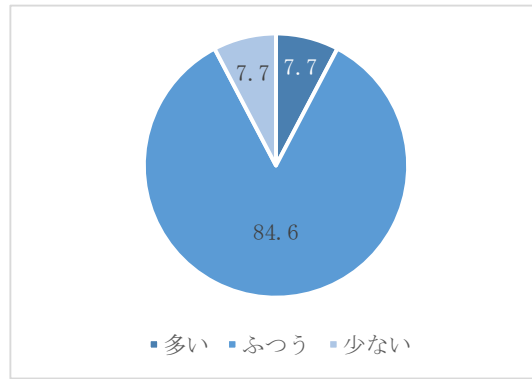
委員会で思い出深いこと（複数回答）

	人数	割合(%)
市長提言	10	43.5
自治体シンポジウム	1	4.3
チャオ！バンビーニ	3	13.0
環境・PR活動	3	13.0
学習会	1	4.3
現場見学会	2	8.7
その他	3	13.0
合 計	23	99.8



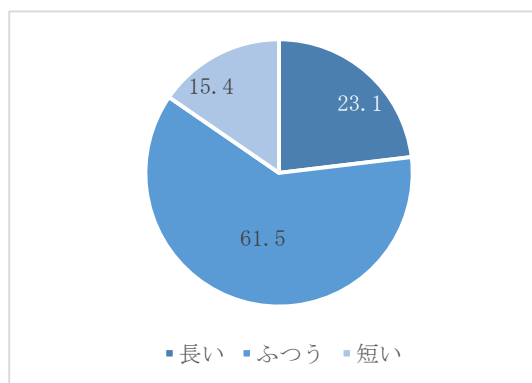
委員会の回数について

	人数	割合 (%)
多い	1	7.7
ふつう	11	84.6
少ない	1	7.7
合計	13	100.0



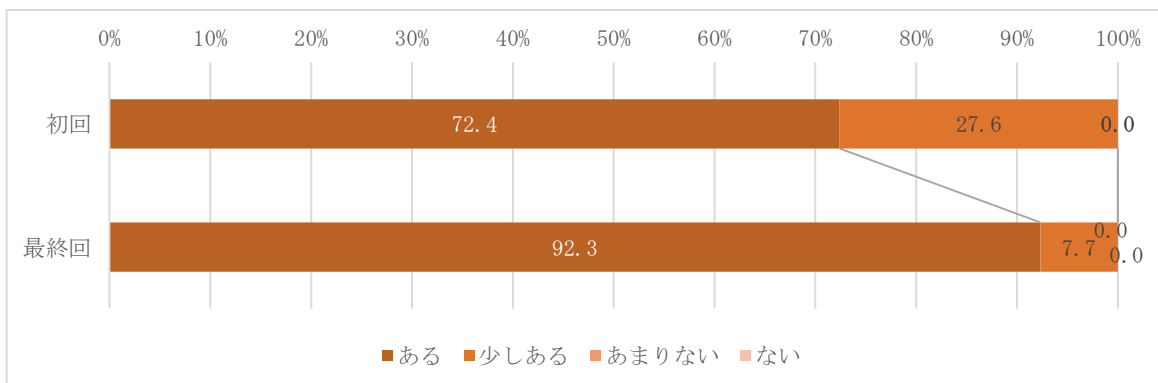
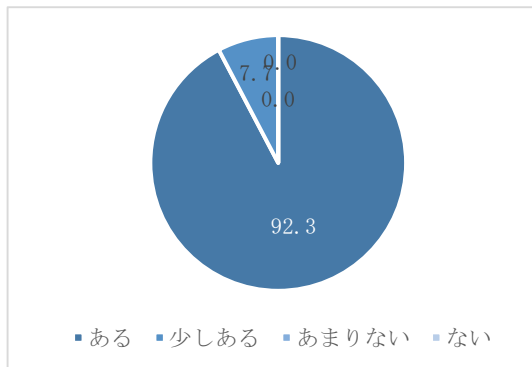
委員会の時間について

	人数	割合 (%)
長い	3	23.1
ふつう	8	61.5
短い	2	15.4
合計	13	100.0



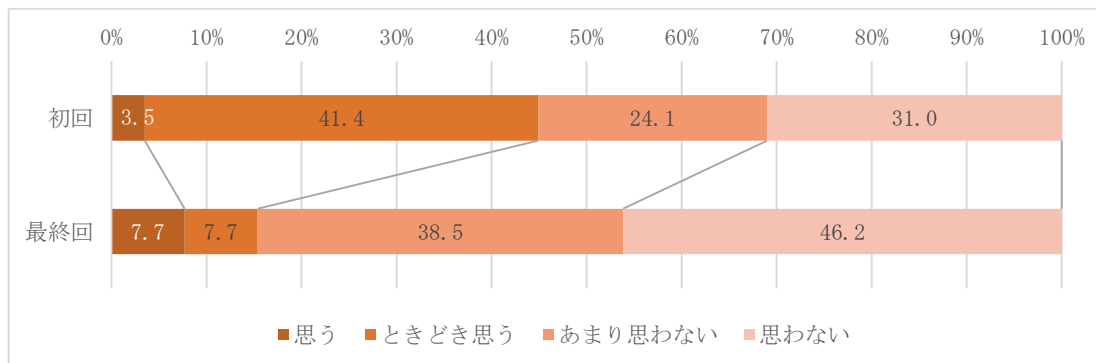
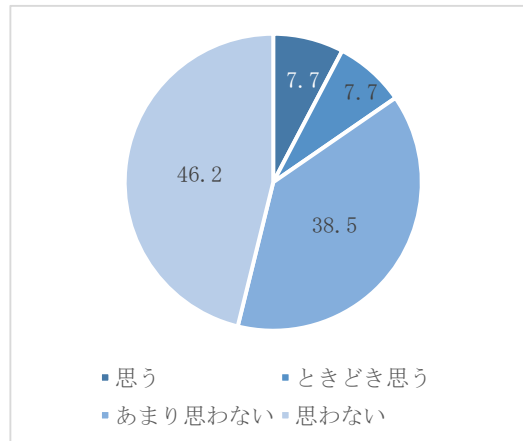
松本市への興味・関心

	人数	割合 (%)
ある	12	92.3
少しある	1	7.7
あまりない	0	0.0
ない	0	0.0
合計	13	100.0



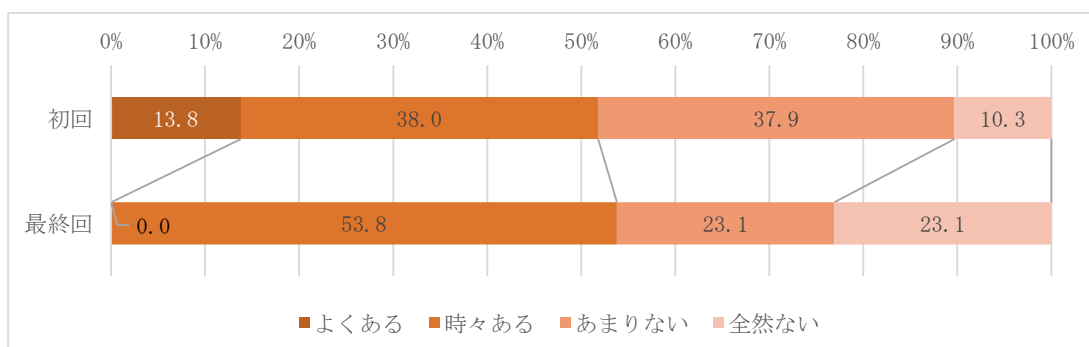
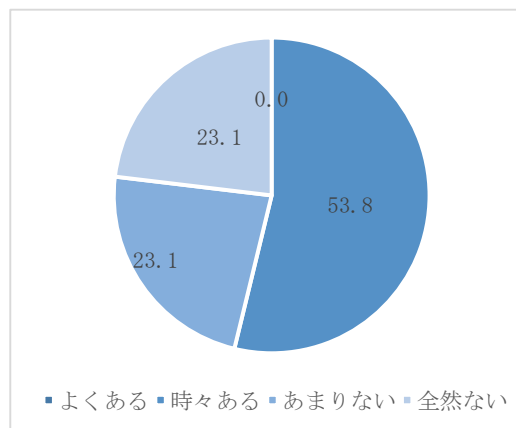
人前で意見を言うことを恥ずかしいと思うか

	人数	割合(%)
思う	1	7.7
ときどき思う	1	7.7
あまり思わない	5	38.5
思わない	6	46.2
合計	13	100.1



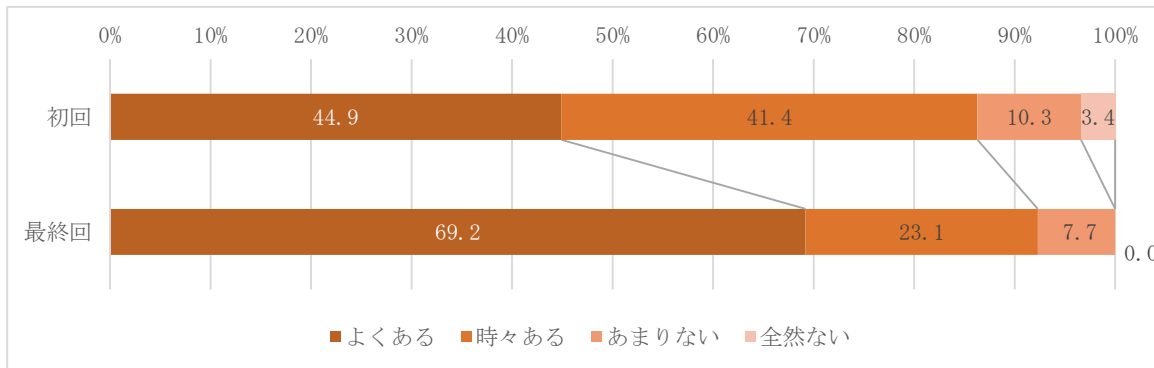
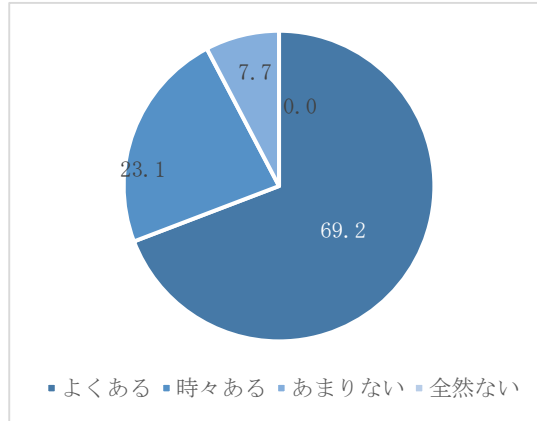
自分の言いたいことを言えないことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	0	0.0
時々ある	7	53.8
あまりない	3	23.1
全然ない	3	23.1
合計	13	100.0



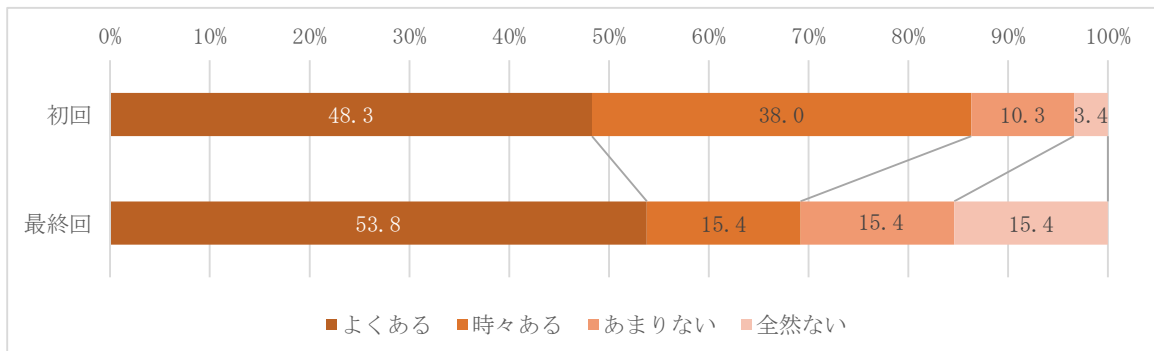
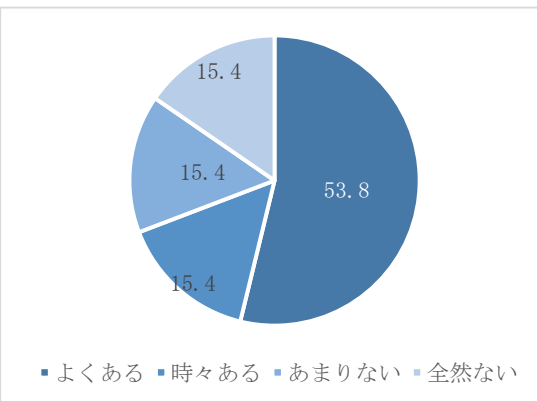
家庭で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	9	69.2
時々ある	3	23.1
あまりない	1	7.7
全然ない	0	0.0
合計	13	100.0



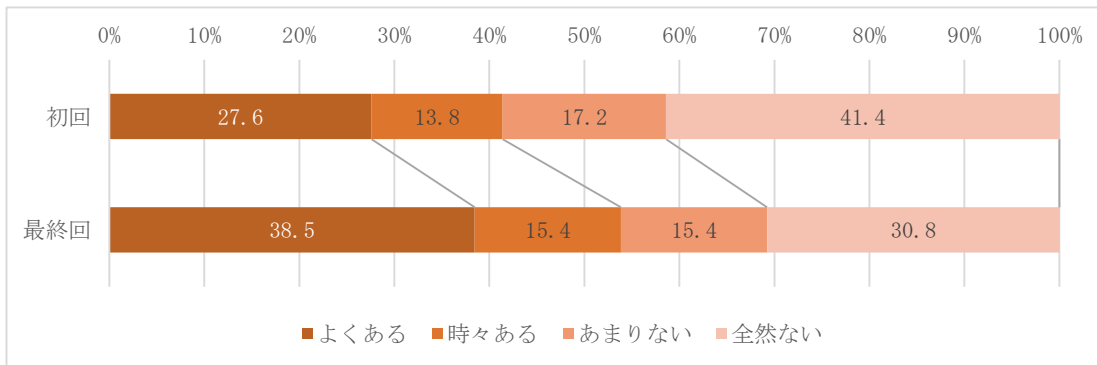
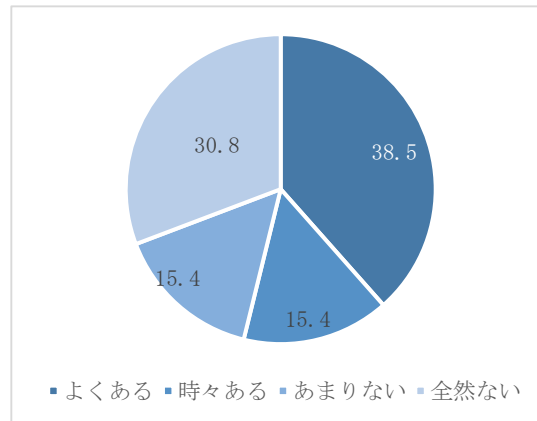
学校で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	7	53.8
時々ある	2	15.4
あまりない	2	15.4
全然ない	2	15.4
合計	13	100.0



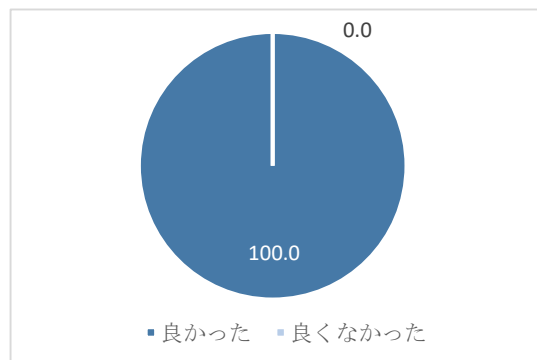
地区で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	5	38.5
時々ある	2	15.4
あまりない	2	15.4
全然ない	4	30.8
合計	13	100.1



サポーターの感想

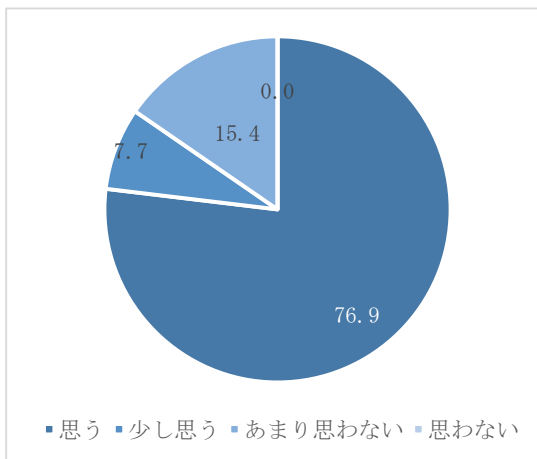
	人数	割合(%)
良かった	13	100.0
良くなかった	0	0.0
合計	13	100.0



- ・ わからないことや言葉の意味をわかりやすく説明してくれるから。
- ・ 資料集めがスムーズにいったから。
- ・ 大学生のサポートで、よくわからないことなどがわかりやすくなったから。
- ・ 子どもだけでは意見がまとまらないことが多かったから。
- ・ まとめるのが上手く、分かりやすかった。
- ・ 自分一人ではできないところを手伝ってくれたから
- ・ 自分たちのできないことなどをサポートしてくれて、とても助かった。
- ・ 大学生と話す機会がないので、大人でも子どもでもない人の話を聞くのは楽しかった。
- ・ 様々な方向から物事を考えられた。意見を引き出してくれた。
- ・ 分からない時にやさしく丁寧に教えてくれたから

次期委員会に参加したいと思うか

	人数	割合(%)
思う	10	76.9
少し思う	1	7.7
あまり思わない	2	15.4
思わない	0	0.0
合計	13	100.0

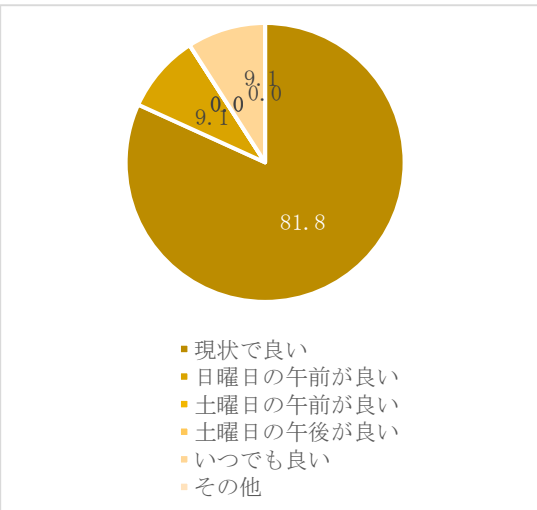


- ・場所が違くと、下の子が遊べないから、迎えに来る時間が合わない。
- ・とても楽しかったから。
- ・中学生になって忙しくなると思うけど、楽しかったから。
- ・来年は時間がなくて参加できないと思うから。
- ・もっと松本をよく知りたい
- ・また松本のためにいろいろなことがしたい
- ・受験のこと等を踏まえると悩ましいですが、来年度も是非参加したいです。
- ・未来委員会が楽しいし、より松本の”今”を知りたいから。

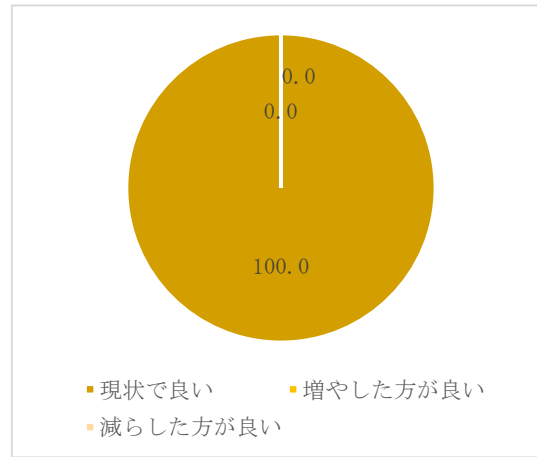
6 未来委員会保護者向けアンケート結果

委員会の開催日程について

	人数	割合(%)
現状で良い	9	81.8
日曜日の午前が良い	1	9.1
土曜日の午前が良い	0	0.0
土曜日の午後が良い	0	0.0
いつでも良い	1	9.1
その他	0	0.0
合計	11	100.0

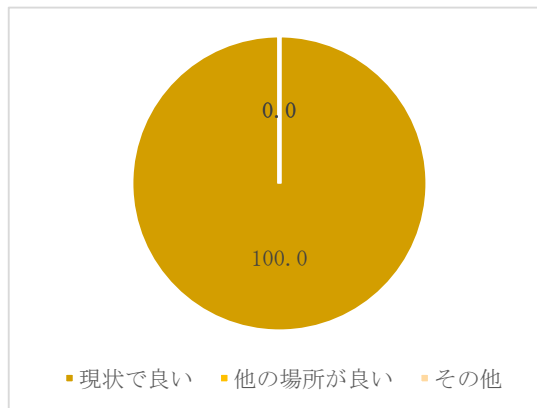


回数について		
	人数	割合(%)
現状で良い	11	100.0
増やした方が良い	0	0.0
減らした方が良い	0	0.0
合 計	11	100.0



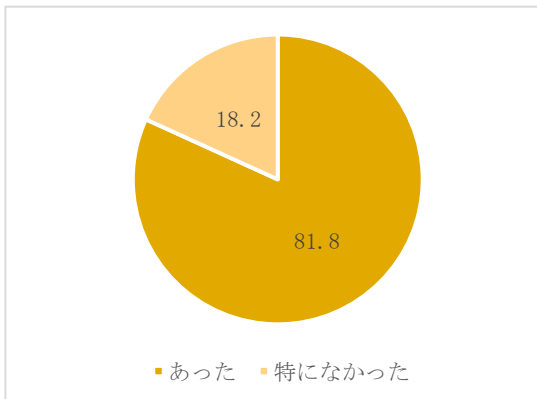
開催場所について

	人数	割合(%)
現状で良い	11	100.0
他の場所が良い	0	0.0
その他	0	0.0
合 計	11	100.0



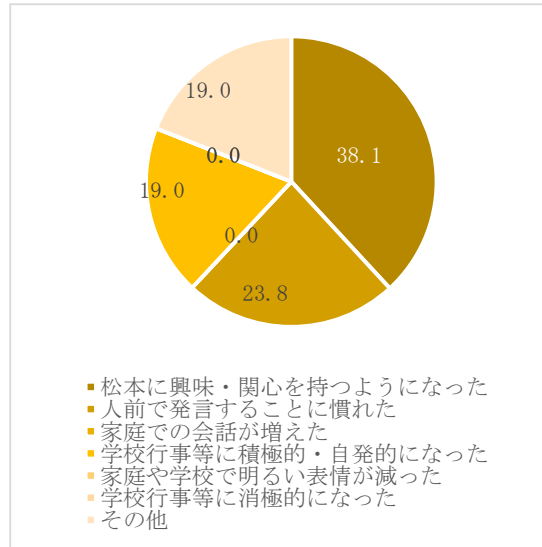
子どもに変化があったかどうか

	人数	割合(%)
あった	9	81.8
特になかった	2	18.2
合 計	11	100.0



変化の内容

	人数	割合(%)
松本に興味・関心を持つようになった	8	38.1
人前で発言することに慣れた	5	23.8
家庭での会話が増えた	0	0.0
学校行事等に積極的・自発的になった	4	19.0
家庭や学校で明るい表情が減った	0	0.0
学校行事等に消極的になった	0	0.0
その他	4	19.0
合計	21	99.9



- ・ 学校区を越えた仲間が増え、毎回出席するのを楽しみにしています。
- ・ 松本に興味、関心を持つようになったに、丸がつかなかったので、少し残念です。
- ・ 市の事業に対して自分なりの意見を持つようになりました。
- ・ 子どもの権利について話すことが多くなりました。
- ・ 学校で児童副会長、中1になってルーム長になり、人の前に立つことに慣れてきました。
- ・ 限られた時間の中で、物事を行うことができるようになってきた気がします。年下の子たちがどのように考えているのか、なかなか話す機会がないので、そのような機会ができて、楽しそう良かった。
- ・ 学校以外の間人関係があることで、オープンになった。
- ・ 子どもたちの成長に大切な活動にも関わらず、小・中学校の先生方の未来委員会に対する認識が薄いので、もう少し活動内容をわかってもらえるようにした方が良いと思います。
- ・ 子どもから市長へ提言する機会があることを知り、子ども同士で考え、意見をまとめて発表する良い経験をさせていただきました。学年、学校の枠を越えて交流でき、大学生のサポーターさんからのアドバイスを受けたり、物の見方や世界が広がったと思います。ありがとうございました。
- ・ 1年間大変お世話になりました。とても良い活動だと思います。年上の先輩たちとアイデアを見出すなど貴重な経験になったと思います。この活動を、例えば、各小・中学校でやってもらうという案はいかがでしょうか。例えば、各学校の副会長が未来委員会に属して、2か月に1回くらい松本市全体の子ども委員が集まるとか。
- ・ 市長への提言という大変貴重な体験もでき、本人も大変満足しています。今後も継続していただくことを希望します。
- ・ 市長への提言など様々な活動をすることで、自信をつけたように思います。周りの委員のお子さんたちと、学校・学年が違って交流でき、とても良い経験になったと思います。
- ・ 市長提言など貴重な体験をさせていただきありがとうございます。第6期も参加させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

・活動は、基本、本人に任せていて、自分で行動していたもので、ご迷惑をおかけしてしまったことも多々あり、申し訳ありませんでした。勉強以外のことをたくさん教えていただき、とても感謝しています。ありがとうございました。

・中学1年生から委員会に参加させていただいています。この未来委員会は、本人も楽しみにしていたようです。高校生となり忙しいこともあり、欠席が多く、ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。

・いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



まつもと子ども未来委員会のマークに子どもたちが込めた思い

- ① 松本を大切にしたい（手の中に松本市）
- ② 笑顔でいっぱいになりたい
- ③ 松本の自然（山・太陽）を描きました